

「令和3年度がん進展制御研究所 共同利用・共同研究拠点研究成果報告会」を開催

2022年2月17日

2022年2月17日（木）、共同利用・共同研究拠点事業の一環として「令和3年度がん進展制御研究所 共同利用・共同研究拠点研究成果報告会」をオンライン開催しました。報告会は、和田隆志理事の開会の挨拶に始まり、今年度に当研究所との共同研究課題として採択された56研究課題の中から7課題の研究代表者7名による研究成果報告が行われました。報告会には、学内外の研究者並びに大学院生らが117名参加し、活発な質疑応答や意見交換が行われました。今回の成果報告会での交流が、今後のがん研究のさらなる発展につながることが期待されます。



開会挨拶 和田 隆志 理事



進行役 須田 貴司 教授

成果報告会 1



座長 土屋 晃介 准教授



東邦大学 仁科 隆史 先生

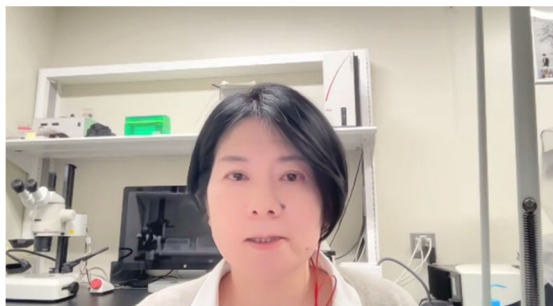


大阪大学 梶原 健太郎 先生



がん研究会がん研究所 角南 義孝 先生

成果報告会 2



座長 中山 瑞穂 准教授



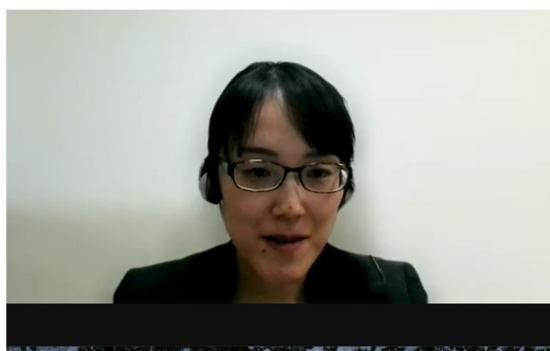
愛知県がんセンター研究所 青木 正博 先生



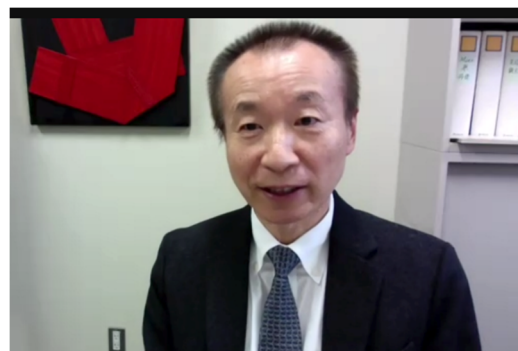
大阪大学 岡橋 伸幸 先生



東京医科歯科大学 栗本 遼太 先生



京都府立医科大学 谷村 恵子 先生



閉会挨拶 松本 邦夫 所長

令和3年度金沢大学がん進展制御研究所

共同利用・共同研究拠点 研究成果報告会

日時: 2022. 2. 17 木

[場所]
オンライン
(Zoom)

13:00 ~ 開会のあいさつ 和田 隆志 (金沢大学理事 (研究・社会共創担当))

● 共同研究成果報告 1

座長: 土屋 晃介 (金沢大学がん進展制御研究所)

13:10 ~ Interleukin-11 産生間質線維芽細胞を介した
大腸がん形成機構の解明

仁科 隆史 (東邦大学医学部生化学講座 病態生化学分野)

13:40 ~ がん悪性化に関わる
増殖因子シグナルの制御機構

梶原 健太郎 (大阪大学微生物病研究所 発癌制御研究分野)

14:10 ~ Bcl11a は PU.1 標的遺伝子の抑制を介して
AML の発症・悪性化を促進する

角南 義孝 (公益財団法人がん研究会がん研究所 発がん研究部)

コーヒープレイク (14:40~15:00)

● 共同研究成果報告 2

座長: 中山 瑞穂 (金沢大学がん進展制御研究所)

15:00 ~ 転移性大腸がん幹細胞の可塑性・未分化性
に
関与するシグナル経路の解析

青木 正博 (愛知県がんセンター研究所 がん病態生理学分野)

15:30 ~ 代謝フラックス解析から見てきた
好氣的解糖のメリット

岡橋 伸幸 (大阪大学大学院情報科学研究科 バイオ情報計測学講座)

16:00 ~ 患者由来 xenograft (PDX) モデルを用いた
難治性乳がんの治療標的の探索

栗本 遼太 (東京医科歯科大学 システム発生再生医学分野)

16:30 ~ 希少ドライバー遺伝子異常を有する
肺がんにおける治療抵抗性機構の解明と克服

谷村 恵子 (京都府立医科大学 呼吸器内科)

17:00 ~ 閉会のあいさつ 松本 邦夫 (金沢大学がん進展制御研究所所長)

成果報告会参加申込サイト

<https://gakkai-gran.jp/kucr2022/>

上記の URL または QR コードからサイトへ移動し、
事前参加登録をお申込みください。



金沢大学がん進展制御研究所
Cancer Research Institute Kanazawa University

〒920-1192 石川県金沢市角間町
TEL. 076-264-6702 (代表) FAX. 076-234-4527
E-mail. kyoten@adm.kanazawa-u.ac.jp
URL <http://ganken.cri.kanazawa-u.ac.jp/>



金沢大学
KANAZAWA
UNIVERSITY